

Nature of Kagoshima  
Wildlife & Nature  
Photographs



▲マガン飛翔

撮影場所：川内川  
撮影日：2012年3月3日  
撮影者：中島俊郎

前頁の写真と同じく川内川のマガンです。別の日、コウライアイサを探していて、バーダーが見つけたそうです。北の方ではそんなに珍しくないですが、南の鹿児島では、1年に1-2回見られるようです。今年は3か所で見ました。

◀ベニツチカメムシ *Parastrachia japonensis*

撮影場所：鹿児島市平川町烏帽子岳遊歩道  
撮影日：2010年8月27日  
撮影者：山下 啓

体長16-19mmで、赤い体に黒い模様が特徴のカメムシ。分布は本州の一部、四国、九州、奄美、沖縄。ボロボロノキが結実する5月初旬に繁殖を行い、幼虫はその実を食べて育つ。雌親が子供に餌を運ぶ習性が知られている。繁殖期以外は写真のように集合した状態で休眠する。

▲沖永良部島のオリエオコウモリ *Pteropus dasymallus inopinatus*

撮影場所：沖永良部島（大山南西部の林内）  
撮影日：2012年2月13日  
撮影者：船越公威

クビオオコウモリ属 *Pteropus* は5亜種に区分されており、そのうちオリエオコウモリ *Pteropus dasymallus inopinatus* は沖縄諸島などに分布している。これまで分布の北限は与論島であったが、それより北北東へ約30km離れている沖永良部島において、2012年2月に調査した結果、本亜種の生息が確認された。体のサイズについて前腕長137mm前後、頭胴長200mm前後で、冬季の食物はオオバイヌビワ、アコウ、モモタマナおよびギョボクの果実であった。写真の場所では、少なくとも4頭の飛来を確認した。





▲コウライアイサの飛び立ち

撮影場所：川内川中流

撮影日：2012年2月27日

撮影者：中島俊郎

川内川中流にコウライアイサがやってきました。同時に6羽見ました。人によっては7羽とか9羽見たとする人がいますが、コウライアイサが日本で見られるのは珍しく、いても単独が多いそうです。今年は日本各地にやってきたようです。右「先頭」がメスで、左がオスです。水上を滑降しながら飛び立ちます。

◀交尾するニホンアカガエル  
*Rana japonica*

撮影場所：鹿児島市下福元町  
(火の河原)

撮影日：2011年4月9日

撮影者：山下 啓

本州から九州、大隅諸島に分布するアカガエル科のカエル。体長は35-65mm程度でメスはオスより一回り大きい。鹿児島では、12-4月頃に繁殖活動がみられる。繁殖期には名前の由来である体の赤色が鮮やかになる。卵は水が溜まった田んぼなどを利用して産み落とされ、安定しない水場では多くが変態前に乾燥死してしまう。近年の乾田化により数が減少しているといわれている。

▶ヒメウ魚捕獲

撮影場所：指宿市今和泉漁港横

撮影日：2012年1月8日

撮影者：中島俊郎

篤姫の仮屋の港、今和泉に最初に1羽見たのが11月、その後12月半ばには6羽に増えていました。ウミウと一緒におり、突かれたり、岩場から落とされたりしていましたが、餌探りは上手で何度もカサゴ（九州でアラカブ・関西でガシラ）を捕まえて飲み込んでいるのを見ました。写真は、採った魚を隣のウミウに取られまいとして、逃げているヒメウです。

